●アニメージュコミックス各450円

幻魔大戦①～④　石森章太郎
黄金の戦士　聖　悠紀
ぶらっとバニー①　吾妻ひでお
ペアペアライサンダー！　聖　悠紀
アリオン　①～②　安彦　良和
忍者キャプター①～②　聖　悠紀
桃太郎地獄変　石川　賢
好き！すき!!魔女先生　吾妻ひでお

大好評発売中

雑誌　47610－13

定価450円

アニメージュ　コミックス13
アリオン②

昭和56年6月5日　初版発行

著者　安彦良和
発行者　小金井直宏
印刷所　大日本印刷株式会社
発行所　株式会社徳間書店
〒105 東京都港区新橋4－10－1

落丁・乱丁の場合はおとりかえいたします

ANIMAGE COMICS

ARION

アリオン2

安彦良和

アリオン2
安彦良和

ANIMAGE COMICS

YAS.

アニメージュコミックス13

アリオン2

安彦良和

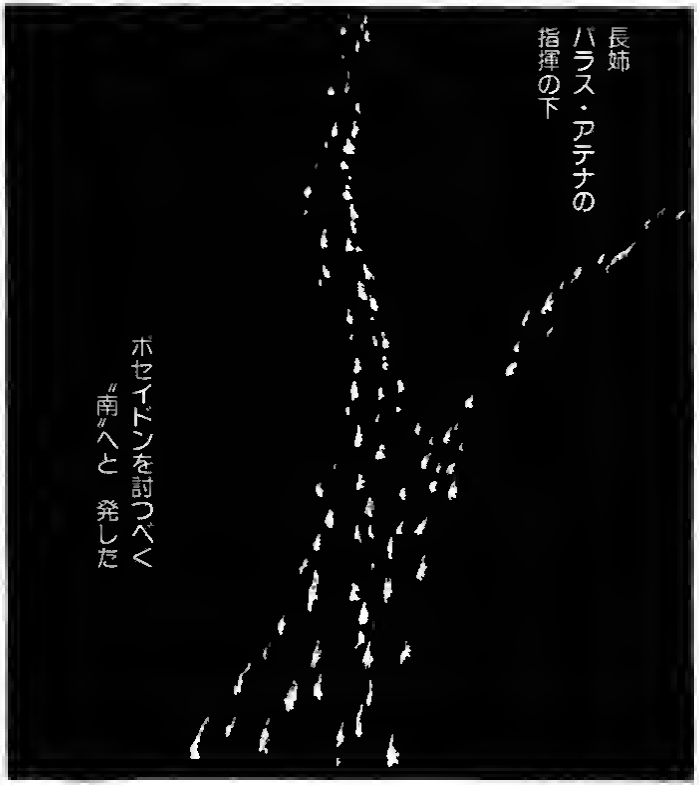
南への旅の果てで
アリオンは海を見た
はじめて出会った海は
とてつもなく大きく青く
父のヒザの上のように温かく
思えた……だが…
アリオンの旅はまだまだつづく……

SECT Ⅵ　南へ……

ゼウスは　地界　海界　征討の檄を発し…

——オリンポスは
兵を挙げた

さらに
オリンポスを
攻めた軍兵の
主力は


長姉
パラス・アテナの
指揮の下
ポセイドンを討つべく
〝南〟へと 発した

逃げた
!?

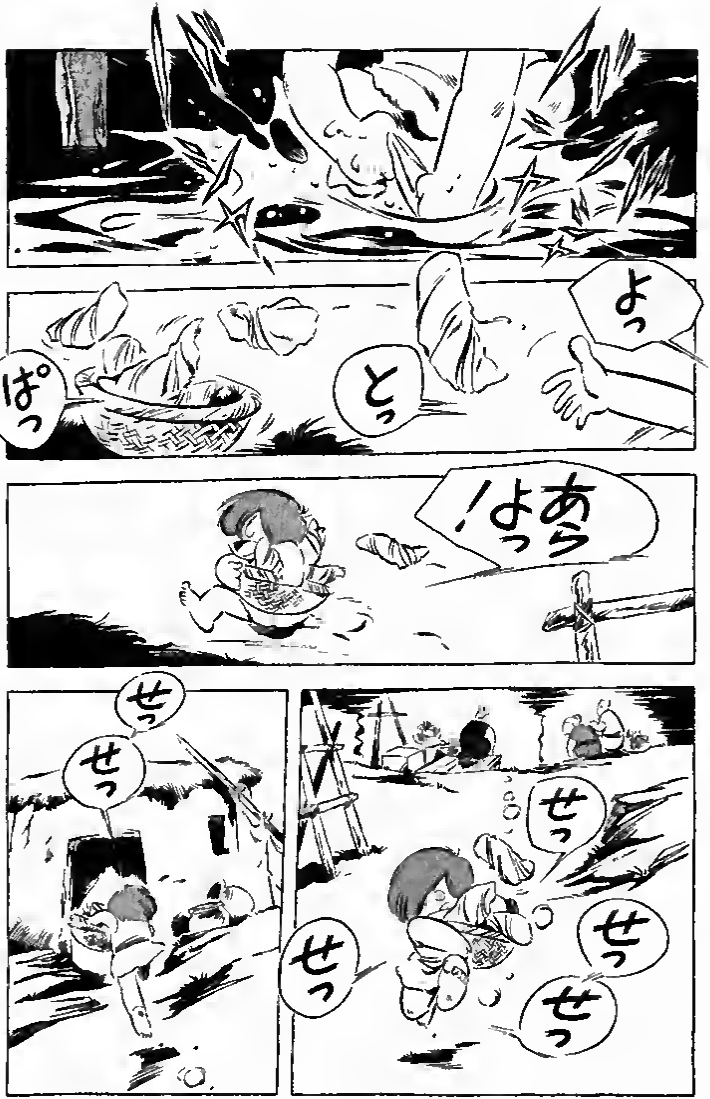
はい
何者かが
手びきを
したと
思われます
警護の者を
一人残らず
斬り倒し
ましたるうえ

あの者めを
黒尾根より
いかが
いたしましょう

父上は
このこと
…？
むろん
まだ
御存知
ありません
知らせる
でない!!
また
あらぬ
気迷いの
タネに
なる
あの者は
傷ついている
そう遠くへは
いけぬはず
兵をさしむけて
山麓の一帯を
探させよ
殺すでない
見つけしだい
私の本営へ
ひきたてい!!

寝所へ!!
ビュッ…
な…

ピチャ


よっ
とっ
ぱっ
あらよっ！
せっ
せっ
せっ
せっ
せっ
せっ

せ…
と…
なあんだ
起きてたん？
へ…

へへっ
いま
メシこさえて
やっかんね
食う
？
うまい
ぜ
るん
るん
♪♫

なんだ
よォ
他人んちの中
キョロ
キョロ
見まわして
!!
いいや
ホラ
あの人が
いないかと
思って
ボクをここへ
連れてきて
くれた…
獅子の
顔をした
……
シシが
見たきゃ
動物園へ
いきな
それ
よりか
サァ
よォ
レスフィーナ
って
おまえの
なんだい
？

これ…
だろ？
シシシ
おやすく
なかったぜえ
昨夜は夜通し
レスフィーナ
レスフィーナって
サ…
へへ大将
色男
は
れ…
チェッ
まっかに
なってら
うぶで
やんのォオ

食いな
特別メニュー
だ!!
精が
つくぜ
ガシ
なぁ
おまえ
ティターン
だろ?
!?
かくし
たって
ダメ
だぜ
わかるんだ
ティターンと
そうでない
ふつうのヤツ
との違いは

まあどっちでもいいけどサ
でもいっておくけどオレティターンのやつらって大嫌いサ
ま おまえは別にしといてやるから安心しな晩メシも喰わしてやるヨ

ちょっとまってな!

あ
そうだ!

いいものがあるんだカエルよかもっとうまいぜ

!!
よォ
セネカ
えらい
ごきげん
じゃねえか
……
なにかいい
金ヅルが
……
転がりこんだん
じゃねえの
かい――え？
……
あやかり
てえな
…へへ
なにかい
おまえとこの
客人 あれは
もしかして
……

び
保
だれにむかってロきいてんだいわれ
○×△△野郎!!ド助平!!
……
……

!?
……
……
……
いてて
ゴー!

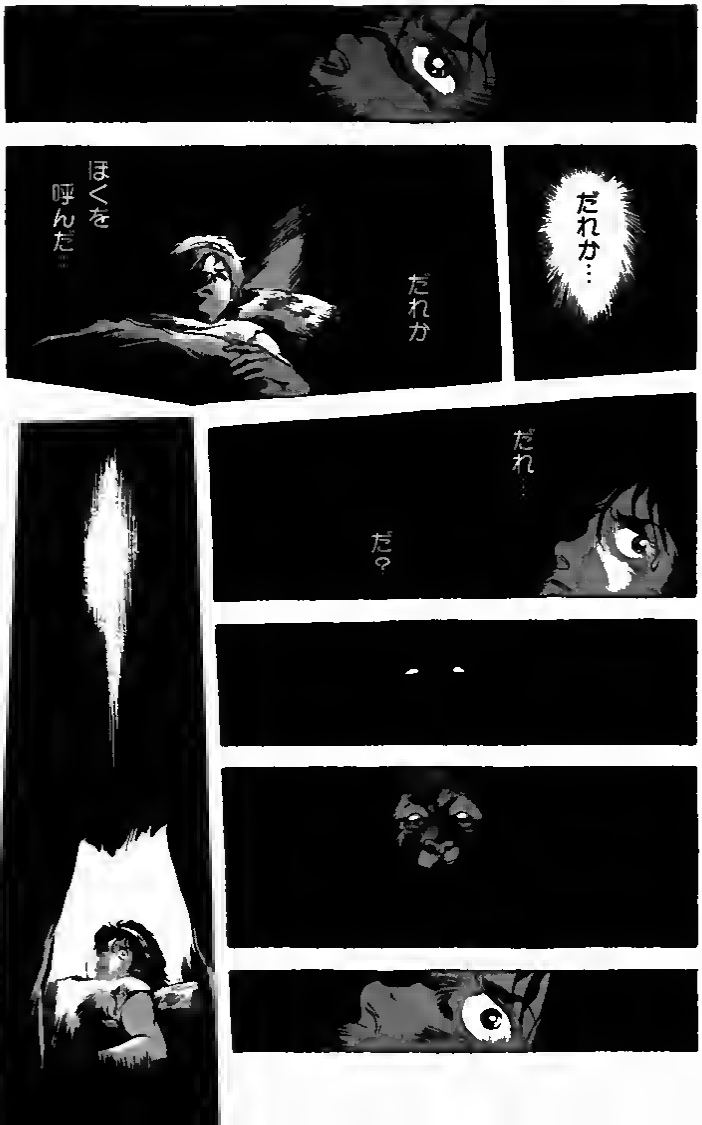
ぬはあ
わっ
ガラ〜
あれま…
これはまた失礼なことしただ…
!!…
へへ
べつにこんな趣味ってわけじゃねェスが
めずらしい客人がおられるちゅうで
?
……
ヒヒヒ…
いやその……ヒヒ
クワン・

なんだ
このクソ
テメエ！
他人ち
かってに
のぞき
やがって
！
いい…
いやその
……
これは
あの…
わけあり
というか
出来心と
いうか
その
ピー
……
やかましい
この
シッシッ
失せろ
ちくしょう
てやんでえ
!!

チェッ
あんちくしょう
まったく
ゆだんも
スキも
なんねえ
や
しっかり
して
なきゃ
ダメ
じゃ
ないか
いいかい
どうせ
おまえさん
わけあり
なんだろ?
だったら
容易く
他人に
気を
許しちゃ
ダメさ!!
てめェの
ことなんだぜ
てめェの
!!
う……
うん…
うん……!?
う…
うん…
あ〜〜あ…
めんどう
みきれ
ねえの
モォオ

そうか…
そいつが
おたずね者の
ガキに
ちがい
ないと
いうんだ
な
へい…
全身に
生キズ
頭には
金輪…
しかと
見とどけ
ましたゆえ…
フム
ひっとらえて
間違い
なければ
ほうびは
とらす…
間違い
なければ
な！
へ…
御注進の限りでは
……たしかでは
ないと…
きさまら
一般庶民
のいう
ことは
アテに
ならん

よォし！
いってみるか
案内しろ！
そのセネカとかいうガキの家へ!!
ガチャ
ガチャ
ガチャ
ガチャ


だれか…
だれか
ぼくを
呼んだ…
だれ…
だ？

黒の
獅子王!!

体が
動かない!!
いいのだ
そのまま聞けアリオン
ことばをかわすのは初めてだが
わしは赤子のころからおまえを知っている

あなたは
だれだ!?
無用な問いだな
それよりもおまえのいく途を教えよう
いやだ聞きたくない!!ハデスとおなじように……
あなたはぼくをまたまどわすつもりだろう!!
い…いくら命の恩人でもだからって…名まえも名のれないような人
し…し信用してなんかやるもんか!
そうだ!
あなたはハデスだな!?

そうだ
そうに決まってる!!
ボクがゼウスを殺すのに失敗したから
これではマズイと思って…
そんなみえすいたお面をかぶってボクを助けにんだろう
一応の筋道はたっているが……違うな
フフ…
?!
……
わしは味方だ
少なくとも現在はそうだ

だからわしの
いう途を往け
アリオン
これから
おまえは
セネカとともに
南へ下り
ポセイドンと
まみえるのだ
父
と―!?
そうだ
ポセイドンは今はまだ
居城クレタにいるが
アテナの軍を
迎え撃つため
ピレウスの浜に
寄せてくるはず
ま…
まって
くれ!!
ひとつ
ききたい
父はボクと
かあさんを
トラキアに
追い
かあさんの目を
つぶした
その
当の人だ
一体
父は
味方
なのか
!?

答えるわけには
いかん
己が眼で
たしかめるがよい
ゼウスの
……ときの
ようにな
だが これだけは
おぼえておけ
この世には二種の
人間がいる
ティターンと
そうではない
ただの人とだ
オリンポスの一党
いわゆる神族も
もとよりおなじ
ティターン
そして
ティターンには
二つの撰るべき
途がある
……ひとつは
姿を変え
名を変えても
なおティターン
として生き
かつ人のうえに
栄えるか
今ひとつ
は
法を
敵り
滅びの
途を
往くかだ

法!?
滅びの途!?
そうだ ゼウスの司る法は偽りの法
真実の法は
源女帝大地の御世より うち続く
逃がれる術なき凶事の鎖…
わしは……
それに従く身だ
……
ガキィ

フム…
あそこか
つごう
よろしく
寝静まって
いる
けはいで…
よし
かかれ
手に
あまれば
殺して
よいぞ
へへ…
あの
ごほうび
の件は…
わかっ
とる
!!

わしも
ティターン
おまえも
しかり…
身は
いづれかに
処さねば
ならん
これがおまえに
とっての真の
宿命なのだ
アリオン
獅子王!!
でも
どうして
ボクが
ティターン
なんだ!!
どうして?
フフフ…
おろかよな
アリオン
人間から
同様に
何故に自分は
人間かと
問われれば
おまえは
なんと
こたえる
?

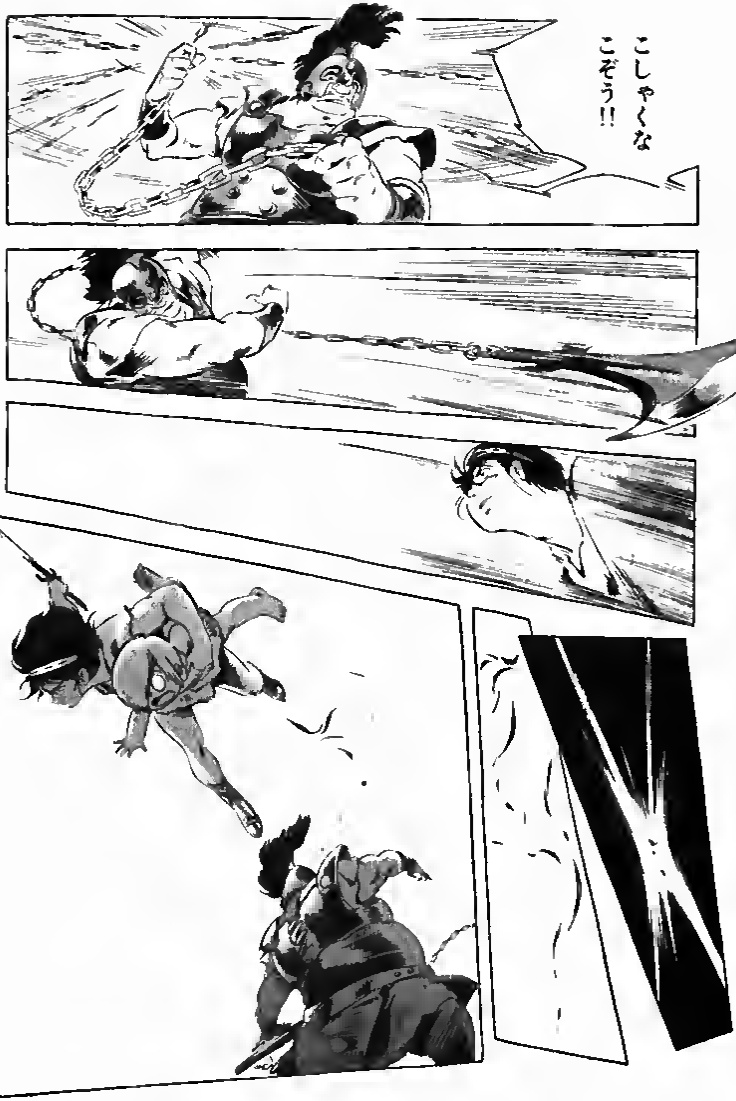
これをやる
剣と路金だ
金はピレウスまでの足しにせい
あ…
体が…

!!
セネカ!!

ワアッチチ

わ…わ…わわ…
来い、セオカ！

……
ぬう…
わあああ


こしゃくな
こぞう!!

ヒヒヒヒヒ
隊長さまァ
やっぱ本物でお約束の
金ぇ
？
ズム。

獅子王は
どこへ…
へへ
強いなあにい
やっぱりティターンだナ見直したぜ
……

アテナの大軍は
一路　南へと
くだった。

地の果てる…

南へ…

SECT Ⅶ　そして海…

突っ込めええええ
ワアアア

カッ
カッ

殺せ！
一人残らず
殺して
焼け
！
焼き尽せ!!
おぞましい
冥界ごとき
これを機に
ねこそぎ
叩き潰して
しまえ!!

王よ！
オリンポスの軍は はや奥の宮まで…
いかがなされますのか!?
このままでは御国は…
王よ!!
……
……
……ふ

フ…
伯父貴か…
醜い老いのあがきよな
え
ハデス伯父！
三界を統べる法の理に叛きおろかしくもオリンポスに刺客をさしむけるとは笑止！
ゼウスの名において
ムロロ…
このアレースが討つ！
フフフ…
一人前のクチをきくようになったなアレース
ゴオオオオオオ

あの鼻タレウスノロのおまえが
はや一軍の将か
きけばゼウスもモーロクしたというではないか
我身を案ずるあまり政事はおろか気の平安もかなわぬていたらくとな
ゴオオオ
それで拝命の軍の指揮がアレースおまえの任とあっては
気の毒にオリンポスの覇も
フフ長いことはないな
ええくそ!!
射てえい!!

ビッ
ビッ
フン
おろかよな
このハデスの
貧乏首と
こぎたない
冥界地獄が
それほどに
ほしいか
フ…
ほし
ければ
…
くれて
やるわ
!!

狂ったか!?
伯父貴!!
……

キレイだなァ夕焼け…
何いってんだいのんきなこといってる場合じゃないんだぜ!!
見ろよ
この凹地は〝ヘビの寝ぐら〟っていってさ
やらしい化物とか魔物が出るって噂なんだぜ

ブキミなんだぜえ おぞましいんだぜえ……
ものすご～～～きみわるい感じするじゃないなんとなく～さ
どっちかというと趣味じゃないんだな…オレ
こういうとこ……
だからさ今夜はここら辺で野宿なんかして…
へへへ
だめ!!
どっちみちここは通り道なんだろだったらはやいとこ
厄介はすませて〝海〟に潜かなくちゃあ
チエ…
ズンズン
なんでえなんでえ!
てんで世間知らずのクセしてサ…
クソ度胸だけは一人前なんだから
始末わりィよまったく!

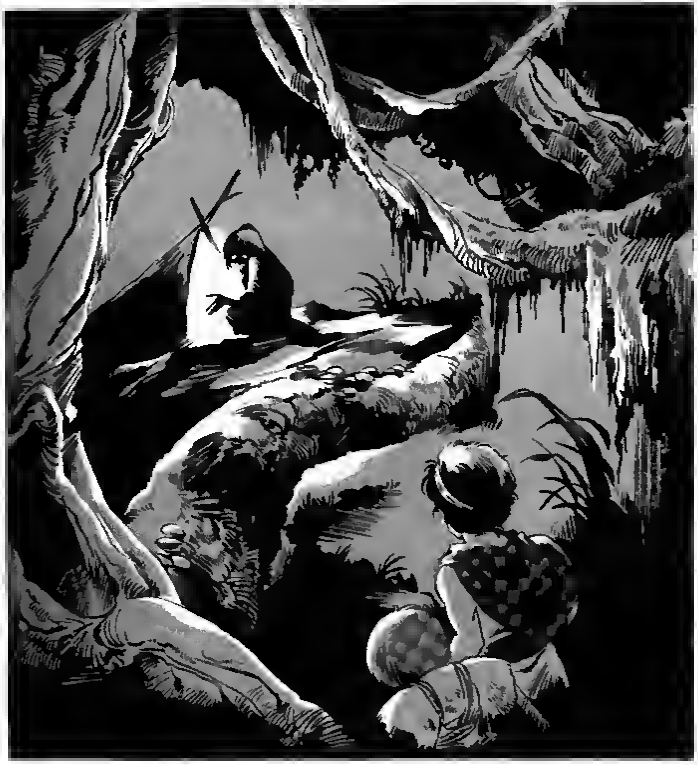
バサ
バサ
ギャオオオオオ

バサ

ギィイイ!
ギィエエエエ…
グエッ
グエッ

くたびれたよォ
かゆいよォ
よォ
あにィ……
わっ!!
てて
……
キェッ!!
ハキャ!!
ぐえっ
ぐえっ……
いやだ
オイラ
もお……

な
なんだよ
きゅうに
……
シッ!!



でででででたたた……
魔物
バケモノ……
……
……
……
おやおや
これは
さても
おめずら
しい
御子が二人で
夜の旅とは
のォ……

知っておいでか？
この森に
化物の棲むとの
人のうわさ…
おや それは
豪気な
……なんと
……
おばあ
さん
こんな
森に
どうして
一人で？
こわく
ないのかい？
魔物が
あ
あにイ
！

？
ホホホ
ホ…
おや…
これはまあ
失礼
だった
こと…
お子たちが
あんまり
かわいいことを
おいいなもの
でね
こんな
姿に…
ホホホ

年よりにこわいものなぞあろうかい
魔物もよけて通りよるホホホホ…
お子たちは
どこへいきなさる？
海へ
ホウこれはこれは…
たいがいな旅じゃ
気をつけていきなされ
森は深いてのォ
ありがとう
おばあさんも気をつけて
おおよ…
良いことを教えよう
この先右へいくと魔物の沼じゃ
喰われとうなかったら左へいきなされ 左へ 左へとな…

左へ？
そう
こっち
のほうへ
じゃ
おやさしい
お子じゃけに
婆が特別に
お教えする
のじゃ
わかった
じゃ
いこう
セネカ
ホホホ
ホホホ
ホホホ

へんだぜ
あにぃ
なんだか
ますます
やな感じになって
きたじゃないか
やっぱり
くわせもんだよ
さっきの
婆さん
ねえ
はやいとこ…
ピシャ…

沼だ
沼……
やっぱりさっきの婆さん……
かえろあにィ!!
だまって!!
シッ!
うしろを見るな
セネカ!

ヒッ

あふ
あふ
あふ……
ジョー
チャリン

ズバウバウ
ドド
あ…
あにイ！
……
ハア…
ハア…
//

あ…ああ
ああ……
なんと
な
なんと
ムゴイ…
よよよよ
……
……
……
……
やい
やい!!

フザけんない！
オレたちをだまして化物のエサにしようとしやあがったくせして!!
ティ…ティターンか…
そうかおぬしティターンか
そうじゃったのか……
ならばこの婆が迂闊…
魔物がかなわぬも道理じゃ
な…なにを勝手なこと……
いってやがんでえ!!
い…いこあにィ!

うう
うん…
まちなされ
コテッ
おまえさま…
おそろしい相がでていなさる
死相じゃ……
己れをも他人をも滅ぼす凶相じゃ
往く先々には死骸があろうぞよ
人間の血とティターンの血にまみれようぞ……

てやんでえ
てやんでえええ！
へんなごたくを
並べると
しょうち
しねえぞ
!!

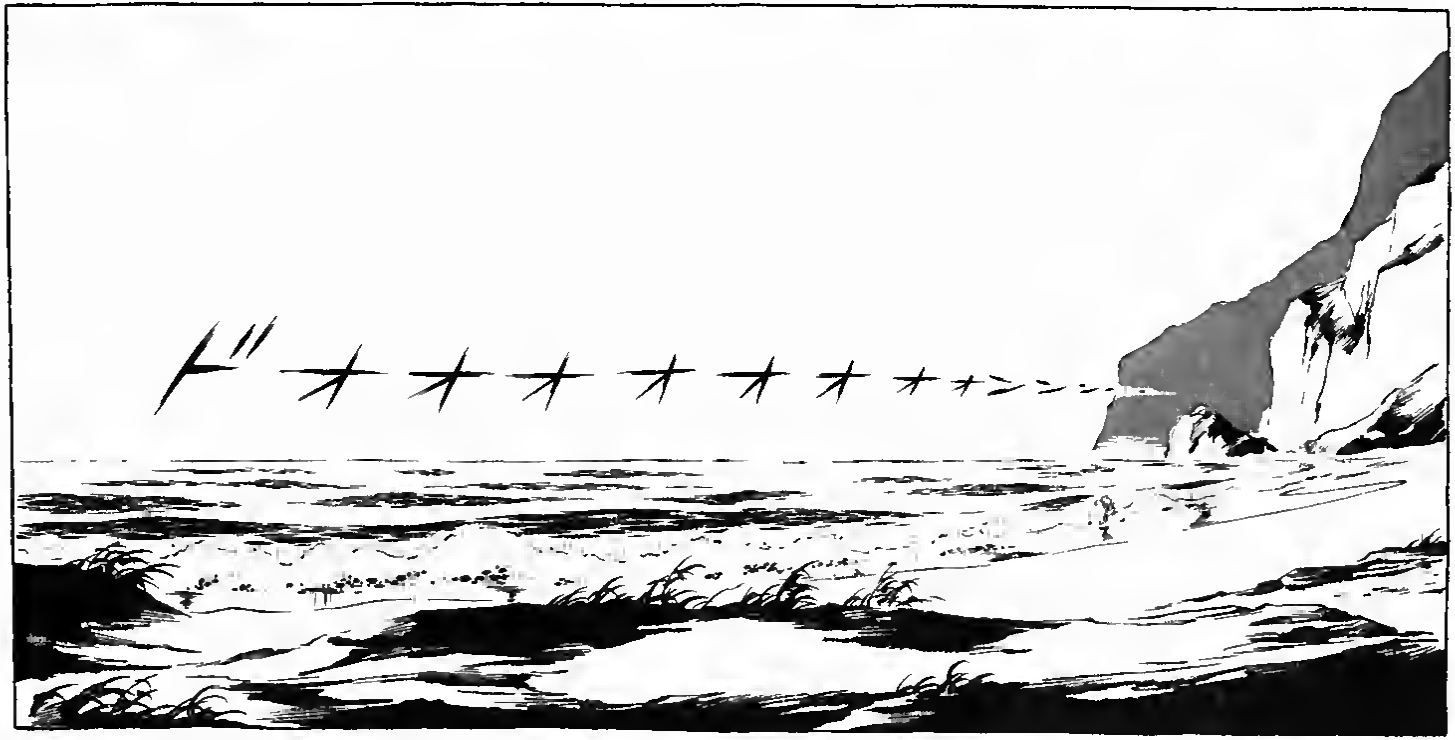
さっ
いこ
いこ!!

あにィィ！
さいそいで!!
その高みまでいったら海が見えるぜ！
海!?
海!!
しっかりしなよ！
まだあんなバアさんの寝ごとを気にしてるのかい!?
海……
海……
海……
ハア
ハア

ハァ
ハァ
ハァ

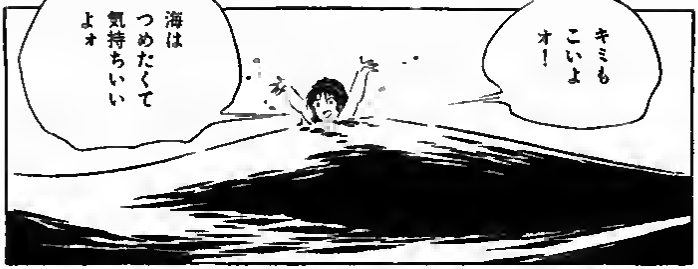
海……
アリオンの
はじめて見る
それは
遠い山あいに
まだ
小さかった
――……

SECT・Ⅷ　海界の王・序

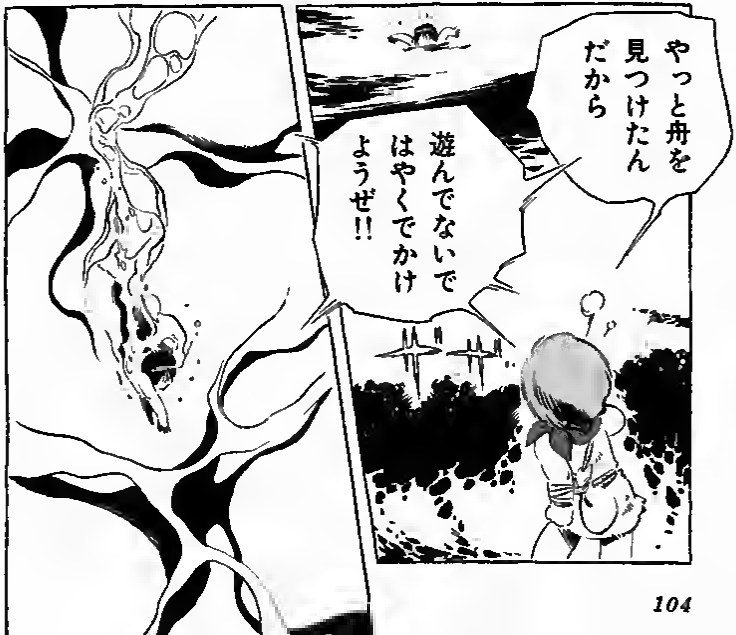


あにぃよオオオ
ビュー
ビュー
あにぃ
イイイイ
ドドオオ
オオオーン
と…
と
と…
バタッ…

……
へえええ
やあ
セネカ


キミもこいよォ！
海はつめたくて気持ちいいよォ

……てんだい
モォォ……
のんびりしてるばあいじゃないんだよォォ！


やっと舟を見つけたんだから
遊んでないではやくでかけようぜ!!

ごめん
ごめん
あんまり
気持ちが
よかった
から……
でもサァ
うまいじゃん
泳ぎ……
海なんか
見たことも
ないなんて
山ザルだから
サァ
てっきり…
……
……
え!?
なに?
てっきり!
てっきり
なんだって?
え?
セネカ

いや…別に…たいしてなにもあの…
その…
？
どうでもいいじゃんかよオ
いいから早く着な！服を!!
……
ごめん
は!?
ドサ…
POKA
PAKA

ゴゴゴゴゴゴゴゴ

わああ
走る
走る
ねえ!!
すごいじゃないかセネカ見直したよ!
へ……
どんな人間にだってなにかしらとりえってのがあるものなんだねえ…
見ろよセネカ岸がもうあんなに遠くなった
PATATA

スゴイなあ…
なんて広いんだ海…って
この広い海の支配者がとうさん…
ポセイドン…
ザァァァ
ね
まだ見えないのかいクレタ島は
み 見えるわけないよ
こんな舟じゃ3日3晩がいいとこサ遭いんだぜ
へえぇ…
そんなに

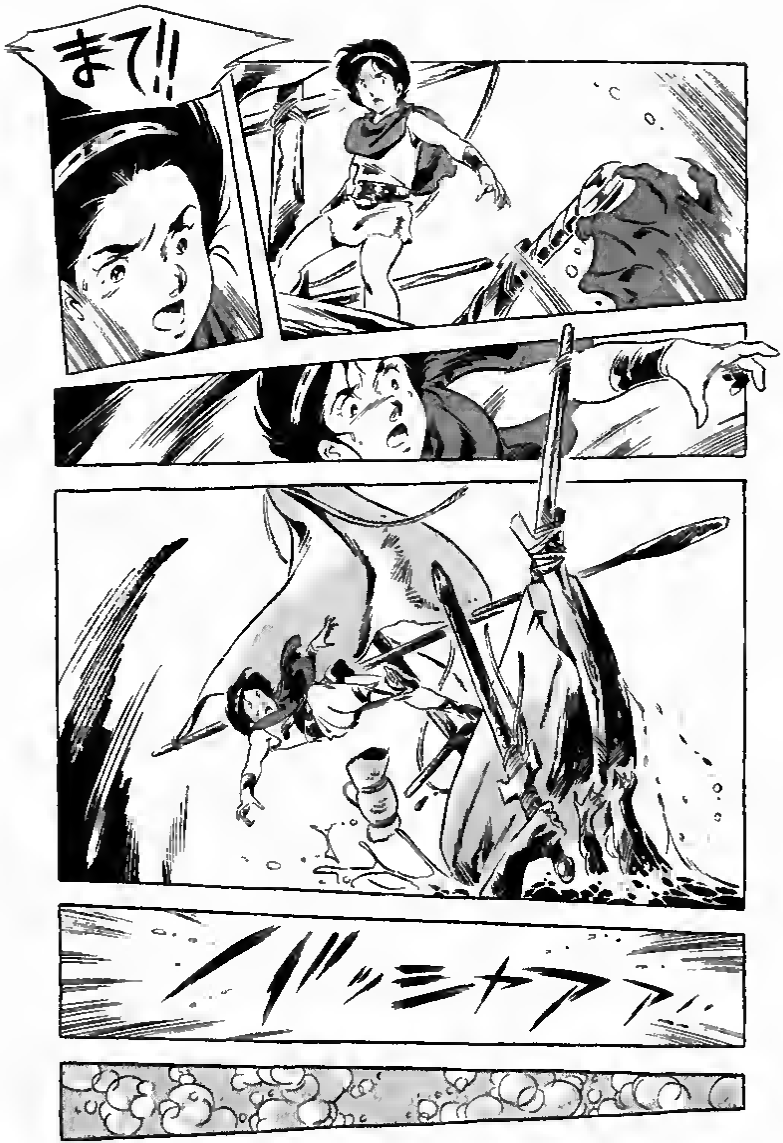
なんとなく
そんなに広いのか海って……

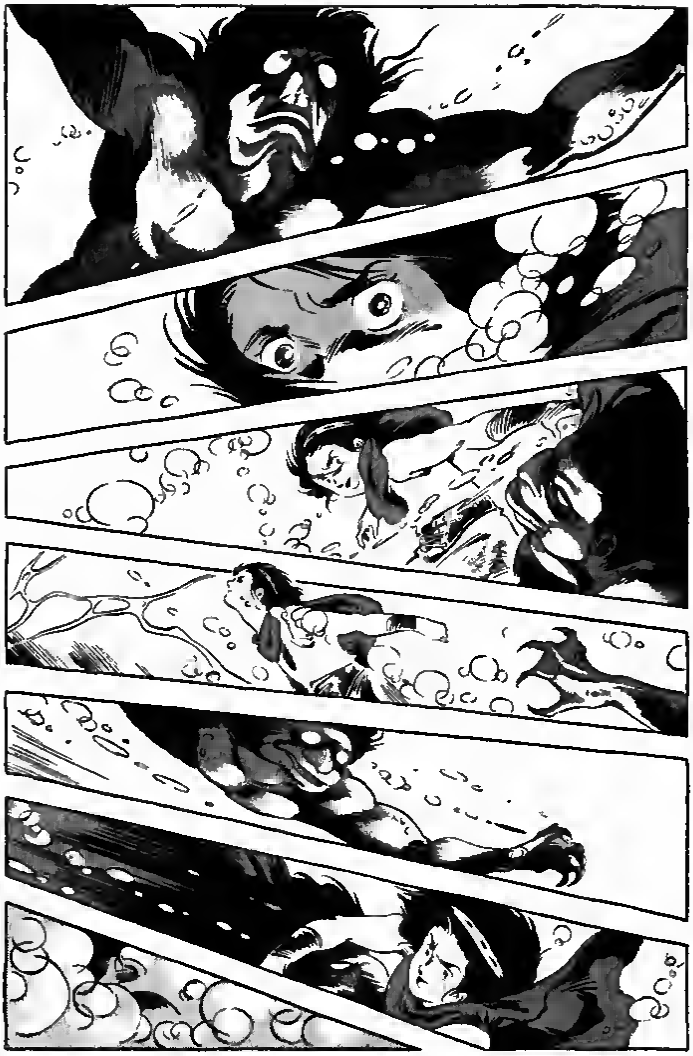
クウ…
ナ・
レスフィ
モ゛…
ん…ん
ん
やぁ
もう
着いたの
かい？

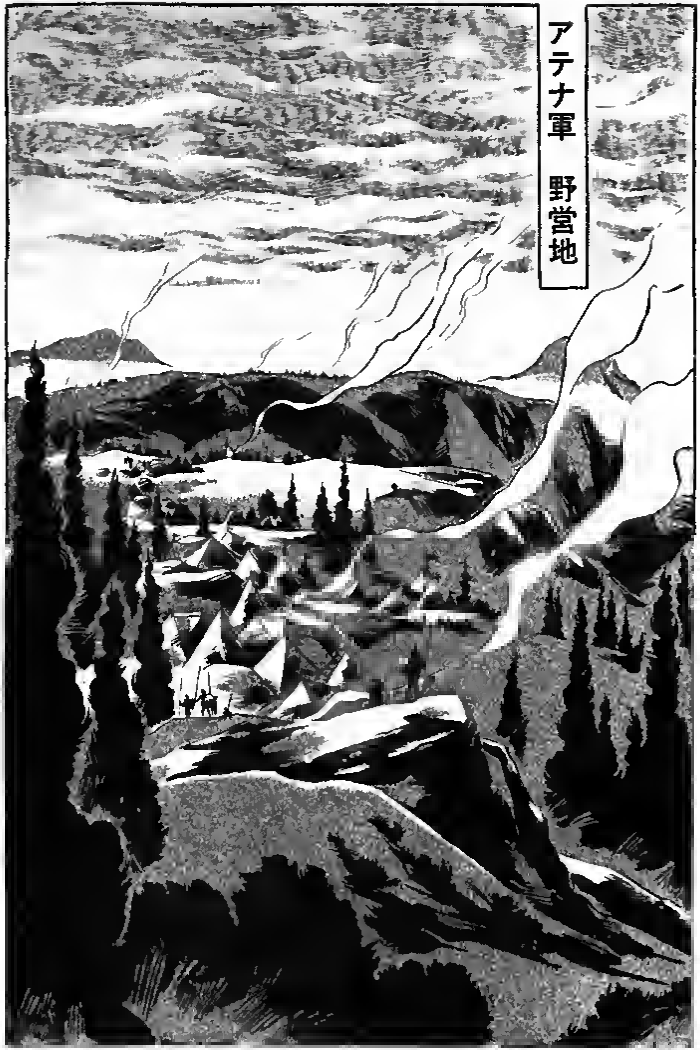
なにのんきなこといってんだよォ！
へんなんださっきからこの舟ちっとも進まなくなっちゃった
!?
風がないじゃったからなのかナ
それにしても
へんだぜ
なにかこうおなじところをグルグルまわってるみたい…
とにかく風がダメなら漕ぐしきゃない
ささ…手伝って！
チェッ
なんかこう調子狂っちゃうなァ！
?!

どうしたんだい？
れ
れれれれ
櫂が…
ぬ…抜けな……い
そんなバカな…
なんでもいいから！
手伝って！
わっ
ひきこまれるウゥ！
ひっひ…

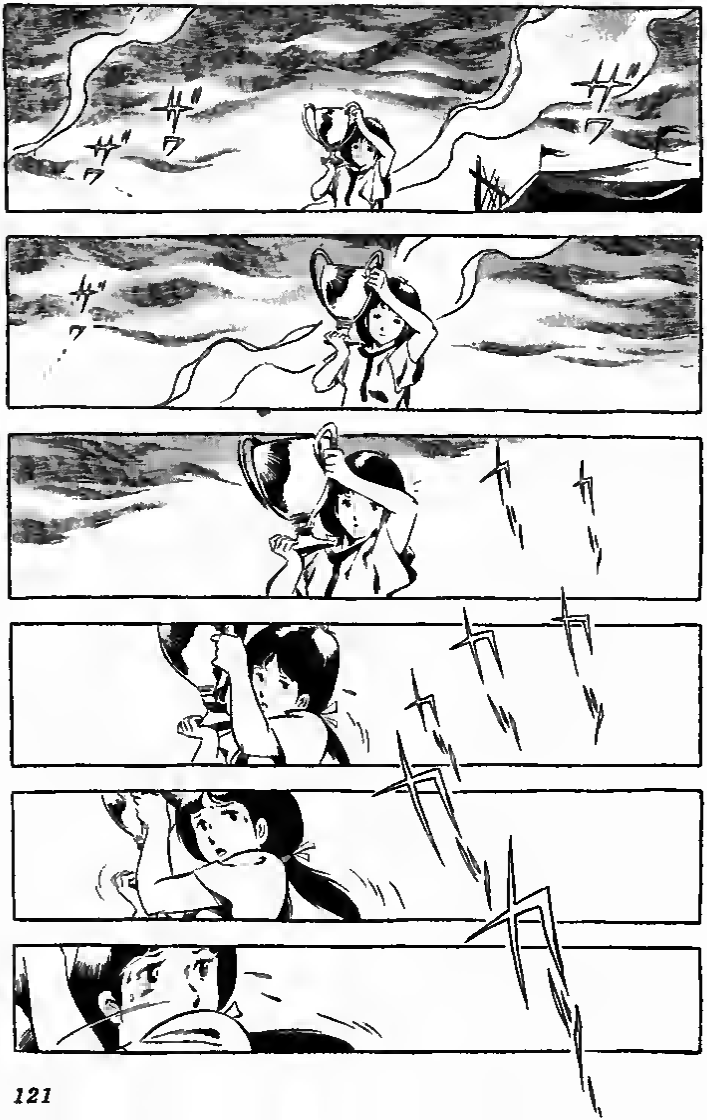
わわわ!!
あ!!
セネカ!

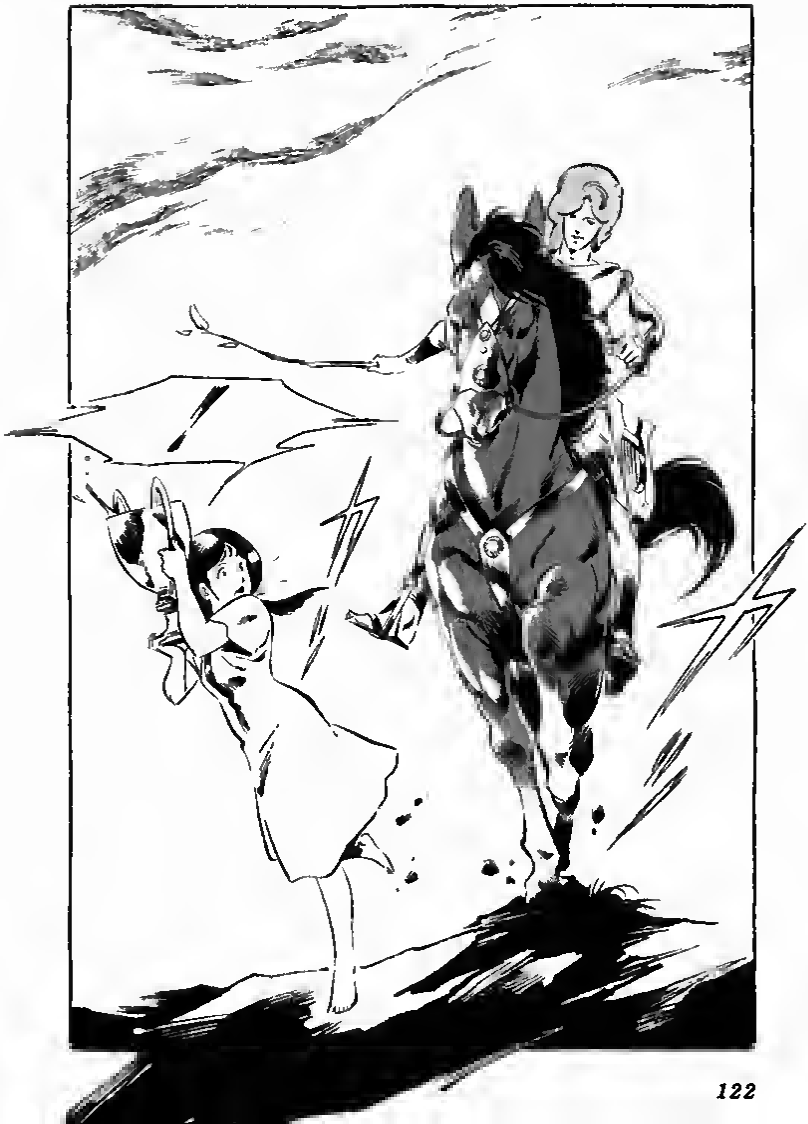

まて!!
ハァッ ハァッ




アテナ軍　野営地

ザワ
ザワ
ザワ


ザワ
ザワ
ザワ
ザワ



ブルン
スト…

やあ
これは失礼
キライ
なんだね
馬が…
ブルル
!
……
……
こわがる
ことは
ないんだ
かわいい動物
なんだが
ねェ……
ハハ…
ごめん
ごめん
おわびの
しるしに…

!!
特別に
きみの
その
唇に

う……
……
……うう
あああ

あ
あ
ハチ
そうだ
そうやって叫べ！
叫ぶんだ！
もっと大きな声で!!

あ…
あ
あ
あ
あ
あ!!
ドン

見下げはてたものね
えっアポロン！
品性下劣とは承知していたけどまさかこうまでとは……
お離しその娘を!!

やれやれ
じゃまをして
ほしく
なかったね
いま
とてもいい
ところ
だったのに
……
おだまり
なさい！
神聖な
私の陣中で
みだらな
ふるまい
あなたが
もし
血をわけた
弟で
なかったら
そのまま
斬ってすてた
ところよ
見逃がして
やるのが
せめてもの
私の情け
早々に
ここを立ち去り
なさい！
いつもながら
――
キツいな
姉さん

戦さ場という所がそんなに神聖な場所とは知らなかったよ——不徳の極みでね
そうそう戦さといえば…
ロドーブでハデス伯父と事を交えた友軍はさんざんな目にあったそうだが
そこにいるミイラ男みたいなのはその生き残りかな
ことによるとアレース兄!?
ミイラ男か
およしなさい！アレースを侮辱するとこの私が許しません
無能であれなんであれアレースは武人！あなたのようなただの助平とは違います!!

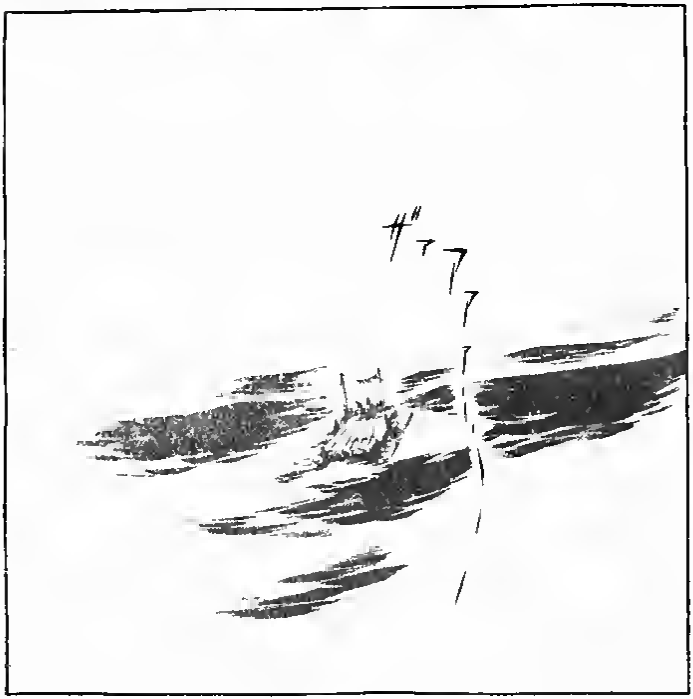
まあいいさ
どのみち僕も
こんな神聖な場所に長居をするつもりなんてない
この先バルナッソスの山塊に格好な場所があるらしいから
そこへ下検分にいこうと思っていたんだ
神殿を造るつもりさ僕専用の
格別神聖なヤツをね
……
……
障中見舞のつもりだったがじゃまをしたね
そうだきみ
レスフィーナとかいったね

いいことを教えよう
オリンポスにもぐりこんでつかまったあの少年
ーアリオンといったかな
あの子は生きているよ
どこにいるかは知らんがたぶん元気だ
しさいはむしろそこにいるコワイオバサンのほうが承知かも知れないが
!!
ハハハいい笑顔だよレスフィーナ

……
……
……
……
……
……
フ…

早くいらっしゃい！
馬鹿
バカ
……
ピュー
コテ…

ザァァァァ


ザァァァ

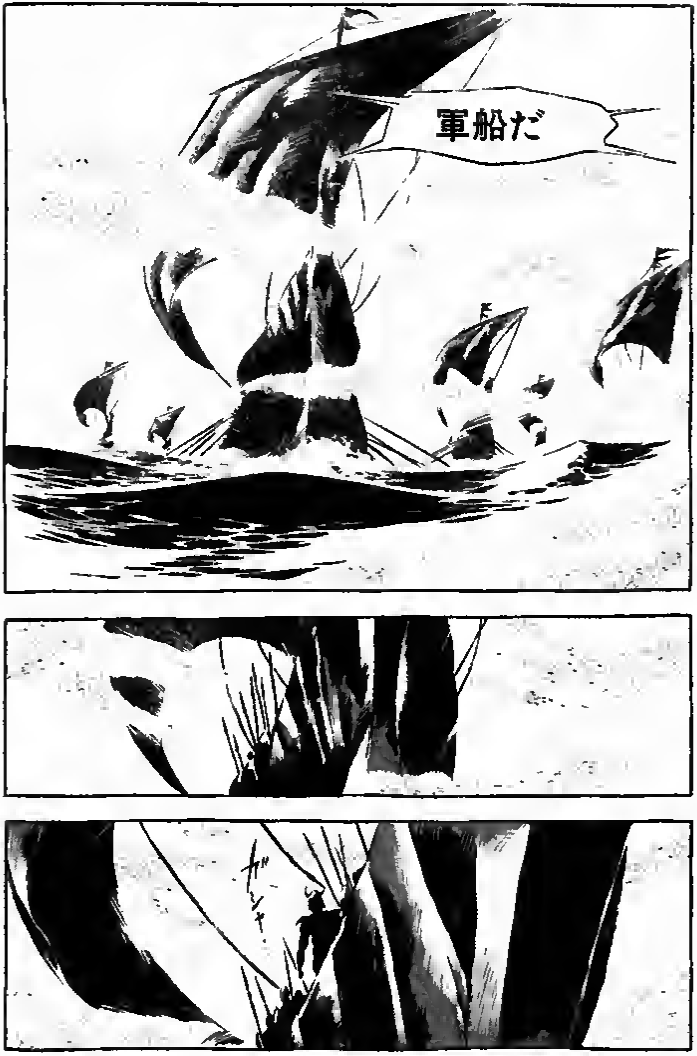
ヒキ
ヒキ
あ
ん…
あぁ
ムニャ
？
ガアアアア
ゴロ
ゴロ

ケッ
ゲッ ゲッ ゲッ ゲッ
ゲェッ ゲッ

ゲゲゲ

強がってみたってダメだやつら……
人間じゃない
でも僕らをとって食おうって訳でもなさそうだ……
だってそうだろ
やつらはおぼれた僕らを助けたんだ…
ゲ.ゲ.ゲ…
きっとなにかもくろみがあるんだ
きっと……
お おっかね…
どっちにしたってオイラ 助からないって感じ……
……
……
ヒョイイイ…

な
なんだ!?
ピィィィィィィィィ
あれは…
ピィ
ピィィ…


軍船だ

海人(うなびと)か…

SECTⅨ海界の王・その前夜

ザ
ザアアア
気をつけろ!!
船の防げになろうが!
鏡の中をウロウロしおって
グ…グフィ…ゲ…
ゲゲグイグイ……
貰えというのだなその者たちを
それはいいがマ
なんだまだまるで子どもではないか!

グイ
グイ…
ゲフゲフ
ゲホ……
…グフ
フフ
よいよい
勝うて
やるわ
船足を
落とせ
網を
投げて
やれ！
な
な
なに
しゃあ
がんだよ
よせ!!

チクショォオ
土佐の一本釣り
じゃねえん
だぞ!!
ん!!
ゴイッ
でえ!!
フン
これでは
半人前の
人手にも
ならんが
まあ
よいわ
ん!?

まて!!
その剣はこの者からとりあげた品か!?
キサマだ! きさまのもっているそれだ!!
ギギ…グヒ グ…グ グ…ゲィ …ゲコ
だめだな!
きさまにはすぎたシロモノだ
よこせ
ション…

フ～～ム…
プラン
プラン…
やい！
それは
兄イんだ
ぞ！
返せ
ドロボー
!!
……
……
たしかか
こぞう
きさま
の
ものか
？
フム…
……
……
……

よし
とりあえず
潰ぎ場へ
つれていけ！
よく
見張れ
逃がす
なよ！
てやんでえ
見てろ
ドロボー!!
あとで
ギタギタの
メロメロに
やっつけ…
てっ
……

チクショオオオ
こんな話ってあるかい！
バカくさ…!!
おとなしくしてろよセネカ
シッ
今にスキを見て
こんなところ
コホン

ゴ"
ゴ"
ゴ"
ゴ"
ゴ"

あなた
が……
!?……
あ……ぁ……

わが水軍は
カルキスおよび
コリントスより
ピレウスの
沖に向かい
つつある
軍船の数三百
ポセイドンの船隊に
比してもひけをとる
ものではない
アッティカ
ボイオティアの
一帯は
すでに
すべからく
わが方に就き
ゼウスの御旗の
下に 衆は はせ
参じつつある
後方には
もはやなんの
気づかいもない
さて
問題は
わが方の備え
だが
ピレウスの
浜を要として
陣は方円
構えは三段
これを
内陸二里に
おく
要は敵を
陸中深くさそい
こみ——挟撃つ
これだ!!

陸にあげてしまえばポセイドンごときただの野盗もどき
恐れるに足らぬ

騎馬の攻撃で縦の線を衝き
両翼が密集隊をなしてとどめをさす

ゲデルクレチウスの支隊はグリファダから海沿いの間道を伝って敵の背後を断て!!

水軍は
サラミスの地峡に拠る
ここに敵をさそい叩くのだ!!

サアアア
ピシャ
レスフィーナ

にくいかい？
あたしが
……
……
それとも
こわい？
いいのよ
どっちだって
ピチ
あたしは
戦さに
あけくれている
女……
死神のような
冷たい女
だから……
もうじき
また　たくさんの
人が死ぬわ
半分は
たぶん　あたしの
ためにね
その中には
もしかして
あなたの大すきな
あのぼうや
だっているかも
しれない…
そうよ
…フフフ
そういう
ことなのよ

!!
見るでない!!
……
……

ジジ……
不吉だな
えらくまた
不吉なものいいではないか……ええ？
ではなにかおれがあの小娘に負けるとでもいうのか？
このポセイドンがアテナごときに
いや
そうはいわん
だが海の王よ
運命は同様に〝死〟とでておる

陸への野心が身を滅ぼすということだ
今からでも遅くはない
ガビ!
兵を収めよというのか獅子王
そうだ事を避けて一旦クレタにもどり天空の裁きを待つのが良策
異なことをいうな
もともときさまはティターンの天敵を自認する男
よしんばおれがアテナとさしちがえたところでそれはきさまにとってもっけの幸いではないのかな?
何故の心変わりだ?
なぜおれの身を気遣う?
……
……
……
ムシャ!

好意は
うれしいよ
百万の味方
をえた
気分だ
だが心配は
いらん
おれはすきな
ところへいき
すきなモノを
喰いすきな
女と寝
…
すきに
事を構え
そして
どんな相手にも
勝つ
——これまでと
同じようにな
クイ…
あのものに
……
会ったか？
アリオン
か？
ああ…

間違いない
あれはあいつだ
フフフ
なんの因果
かは知らんが
めぐりめぐって
またこのおれの
ふところにとびこんで
くるとはおもしろい
たんと
可愛いがって
やるサ
すると
御存知か
ハデス王との
いきさつ
を
ああ
そういう
やつだ
ハデスは

いよいよ
らしくないぞ
獅子王!!

おれに
情を寄せた
かと思うと
今度は
あいつか
ハハハ
こいつは
どうも
たいした
博愛
紳士
ぶりだな

きさまが
これほどに
情の深い男
ということに
なると
これは考え
ものだな
おおよその
見当はついて
いるつもり
だったが
ハハハ…
さて誰かな
その
仮面の
下は…
……
よけいな
詮索は
しない
ものだ
ガタ

ままならぬ……ものだな
……

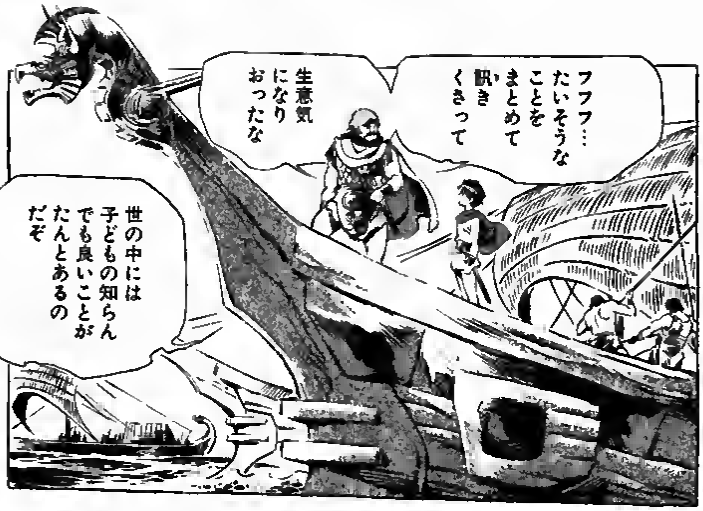
帆を はれぇぇぇ!!

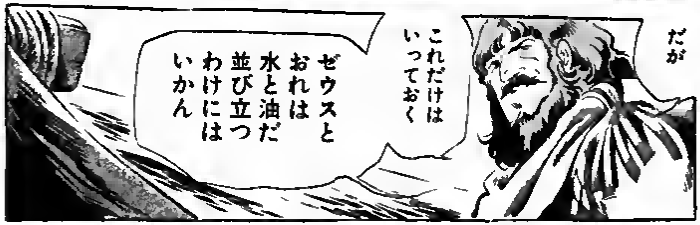
へえ…
早いな
アリオン
どうだ
よく
眠った
か？
いい顔を
して
いるな
気に
いったか
船が…
はい！

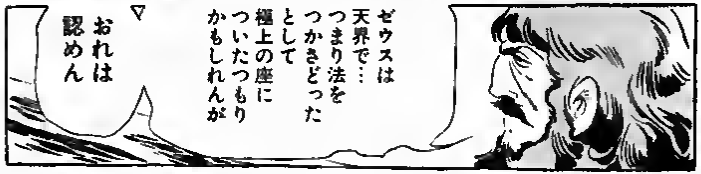
フム……
ウイ！
……
……
……
……
なるほど
陽の下で
見ると
いかにも
デメテルに
よう
似ている
……
……
フム……
フム
ついて
こい
……
……

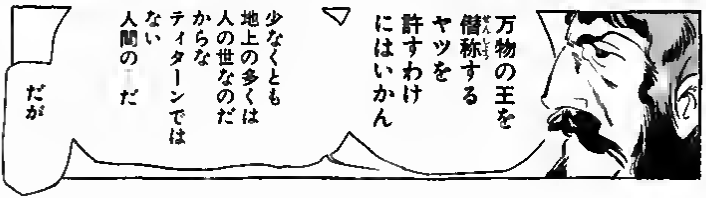
海は広い…
天契とやらに
従ってこの海を
わが物として
以来
くる日もくる日も
海の上にあるような
ものだが
まだ
見も聞らぬ
所ばかり
だ
フフ…
海神などと
呼ばれても
おもはゆい
わ
……
とうさん

ん？
あ
あ…の
いいぞ
かまわん
そう
呼べ
なんだ？
と
とうさんは…
なぜ
オリンポスと
戦うんですか？
なぜ海の
支配にあき
足らず
陸をも
攻めようと
するんです
？
なぜ
それに
……なぜ
同じ
ティターン族
同士で
争うんです？
ボクと
かあさんを
捨てたんです？
……
……
……


フフフ…
たいそうな
ことを
きとめて
訊き
くさって
生意気
になり
おったな
世の中には
子どもの知らん
でも良いことが
たんとあるの
だぞ


だが
これだけは
いっておく
ゼウスと
おれは
水と油だ
並び立つ
わけには
いかん


ゼウスは
天界で…
つまり法を
つかさどった
として
極上の座に
ついたつもり
かもしれんが
おれは
認めん


万物の王を
僭称する
ヤツを
許すわけ
にはいかん
少なくとも
地上の多くは
人の世なのだ
からな
ティターンでは
ない
人間の…だ
だが

?!
人間はテイターンの支配を欲している
やつらはおのれをおのれの手で統治する術を知らん
争って真の強者につこうとしておるテイターンの……王にだ
この世を三界に分けた方便はそういう人間どもの習性をかわすためのものだったが
所詮はまやかしだった…それに
われらとても我執の俗物だもってまわったような約束事など守り札の役にもたたん
決着は……つけねばならんのだよ
見せてやろう
おれの戦さを
……
……
……
ゴ…

岬が
見えて
きた
ぞオオオ
!!

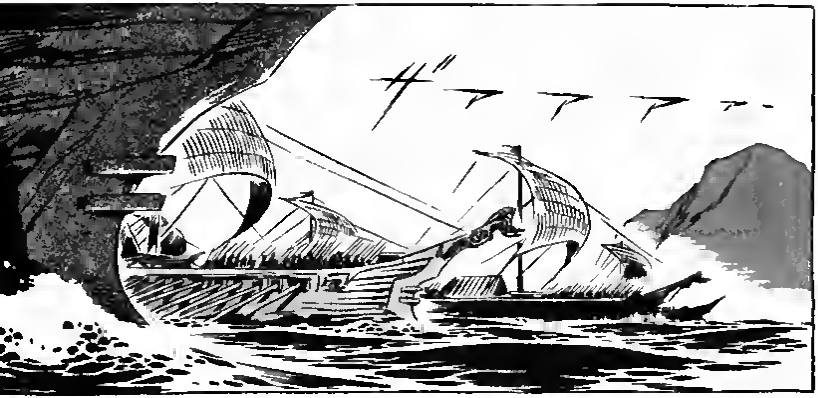
匂うぞ
風に乗って……これは血の匂いだ
クロノスよ
そうれ……それ血の匂いじゃ
血の
匂いじゃ

雷よ
雷よ……
雷よ…

ブルル

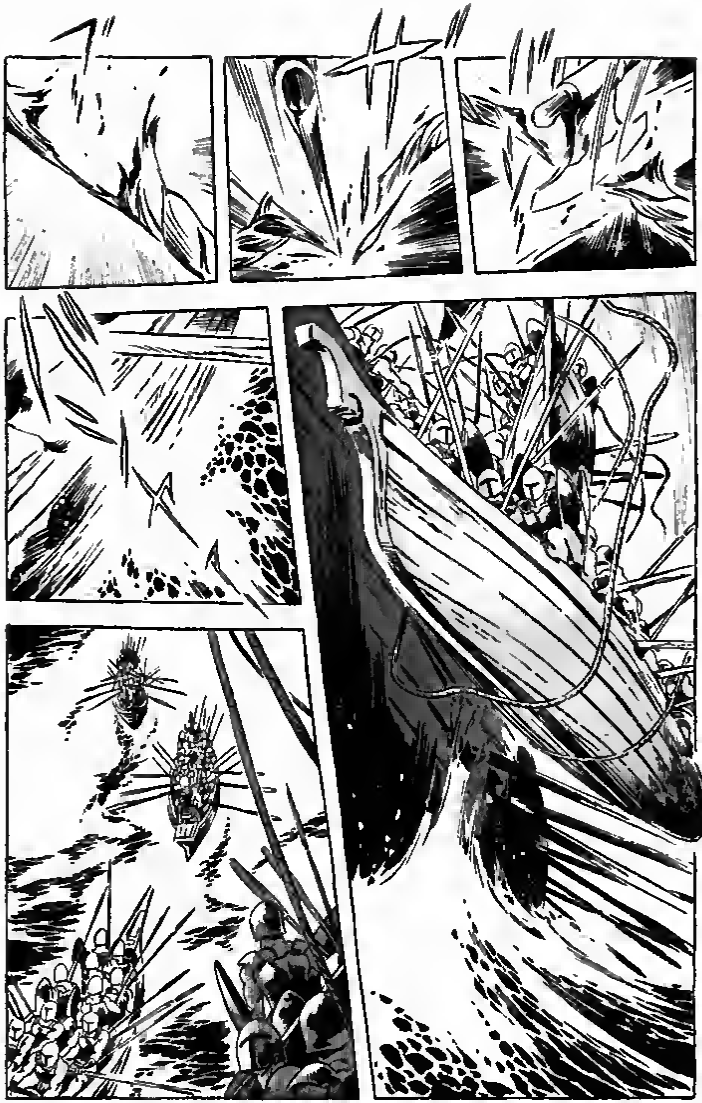
カ〃〃ヤ
カ〃ラ〃ス
カ〃ラ
ガ〃ラ ガ〃ラ
カ〃ラ

姉貴よ！
いいぜ！
最高だぜ姉貴
近在は味方の軍勢で一杯だ
ポセイドンめこの大軍を見ただけでクレタへ逃げ帰りたくなるだろうぜ
!?
……
……
……
……
ガシャ
ガシャ
ガシャ


ザァァァァー

おもかじいっぱァァレ!!!

角を降ろせ
ええええ!!



さて…
わしも
いくか
いいかアリオン
きさまには
これが初陣だ
だが…
オリンポスに
つもる思いは
多々あろう
がな……
はやるな
功をいそぐことは
ない まずは
戦さというものを
よく見識ることだ
……
……
はい
！

アリオン　第2章―終―